

1 読書活動を充実させます！

学習指導要領では、生きる力をはぐくむことをめざし基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うため「言語活動」を充実することとされています。

そのために、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒が主体的、意欲的に読書活動に取り組めるよう、指導していきます。

2 これまでの読書活動に関する取組

- (1) カッキー読み聞かせの会の方々のボランティアによる読み聞かせや5年及び6年の児童による1年及び2年への読み聞かせ活動を実施しています。
- (2) 学級文庫を活用した読書活動を実施しています。
- (3) 学校で、読書タイムを設定し、朝読(あさどく)を実施しています。



3 新たな読書活動に関する取組

- (1) 各学年の児童に読ませたい本の選定を行い、リストにして、配布します。
- (2) 毎月第3土曜日を家読(うちどく)の日として、おうちで家族の方と本を読む日を設定しました。



4 家読(うちどく)の進め方

- 家読の進め方については、後日、図書だよりを配布しますので、参考にしてください。なお、学級担任が進め方について保護者の方へアドバイスもさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

5 読書習慣を身につける！

- 欧米では、質・量ともに日本の大学とはくらべものにならないくらいの読書が課されているそうです。従来のような知識の詰め込み教育では世界水準の人材育成に追いつけないという認識があります。これからは、学校や家庭で体系的な読書活動を進めていくことが必要です。小学校段階では、まず、子どもたちに本を読む習慣を身につけさせることが重要です。